

ふりがな 氏名	あだち ゆうこ 安達 悠子	職名	講師
取得学位	博士（人間科学）・大阪大学大学院人間科学研究科		
受賞歴等	・ 日本人間工学会関西支部優秀発表賞 日本人間工学会関西支部（2015） ・ IEEE Reliability Society Japan Chapter Awards（学術奨励賞）IEEE Reliability Society Japan Chapter（2009）など		
所属学会	日本心理学会，日本応用心理学会，日本人間工学会，日本認知心理学会，関西心理学会，医療の質・安全学会，産業・組織心理学会，日本認知科学会		

教育活動

（主な担当科目）

2017年：心理学実験実習 II，認知心理学 II，専門演習 IIA・IIB など

2016年：社会心理学，卒業論文，老年心理学概論など

2015年：心理学概論 B，心理測定法 I，心理学課題研究 I・II など

研究活動

（著書等）

- 働く人たちのメンタルヘルス対策と実務—実践と応用 森下高治・本岡寛子・枚田香編，ナカニシヤ出版，（2016），9章 過労死と労災，pp.91-100（分担執筆）
- 現代社会と応用心理学 4 クローズアップ「メンタルヘルス・安全」 森下高治・蓮花一己・向井希宏編，福村出版，（2015），トピック 4 ソーシャルサポートとバーンアウト抑制，pp.58-67（分担執筆）

（論文等）

- Yuko Adachi & Yuya Kikuchi（2017）Nurses' and students' perception of risk from medical practices. *International Journal of Nursing Sciences*, 4(2), 142-151.
- Yuko Adachi, Shinnosuke Usui, Etsuko Nakagami-Yamaguchi, Kumiko Fujinaga, Kazunori Nakamura, Keunsik Park and Tatsuya Nakatani（2016）Measuring Attitudes toward Nursing Safety Violations. *Perceptual and Motor Skills*. 122(1), 5-26.
- 安達悠子・山口（中上）悦子・松本友一郎・臼井伸之介（2014）看護業務における違反の心理的生起要因—看護学生，リスクマネージャーを対象に— 応用心理学研究，40(1), 23-35.
- 安達悠子・原田悦子・須藤智・熊田孝恒・藤原健志（2014）認知的加齢と新奇な人工物利用：高齢参加者データベースに基づくユーザビリティテスト・データの分析 認知科学，21(1), 83-99.
- 須藤智・原田悦子・田中伸之輔・安達悠子・日根恭子（2014）高齢者によるタブレット型端末の利用学習：新奇な人工物の利用学習過程に影響を与える内的・外的要因の検討 認知科学，21(1), 62-82.



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

(研究発表等)

1. Yuko ADACHI & Yuya KIKUCHI. 2017.6 Comparison between general people and health professionals on qualitative risk of medical practices. The 2nd Asian Conference on Ergonomics and Design (ACED2017). Chiba, Japan. Proceedings of The 2nd Asian Conference on Ergonomics and Design 2017, pp.714-717.
2. Yuko ADACHI. 2016.12 Differences in risk perceptions about medical practices among general people and health professionals. Society for Risk Analysis 2016 Annual Meeting (SRA 2016). San Diego, California, USA.
3. Yuko ADACHI, Tomoichiro MATSUMOTO & Shinnosuke USUI. 2016.7 Ways to conduct safety training and practical education for nurses in middle-sized or large-sized hospitals in Japan. 31st International Congress of Psychology (ICP2016). Yokohama, Japan.
4. 岡真裕美・森泉慎吾・太子のぞみ・中井宏・安達悠子・臼井伸之介 2015.12 児童の自主性を生かした安全教育の効果—校外版「ひなどり」の実践—, 平成 27 年度日本人間工学会関西支部大会講演論文集, pp.121-122.
5. 安達悠子・菊池勇哉 2015.12 大学生—看護師間での医療行為に伴うリスクのイメージに対する質的検討, 平成 27 年度日本人間工学会関西支部大会講演論文集, pp.113-116.
6. 岡真裕美・安達悠子・中井宏・臼井伸之介 2015.6 救急搬送データにおける 6 歳から 12 歳児童の事故の分析(2), 日本人間工学会第 56 回大会講演集, pp.130-131.
7. 岡真裕美・安達悠子・中井宏・臼井伸之介 2014.12 救急搬送データにおける 6 歳から 12 歳児童の事故の分析, 日本人間工学会中国四国支部・関西支部合同大会講演論文集, pp.62-63.
8. 安達悠子 2014.9 リスク認知の観点から見た「似ている」医療行為—現職看護師を対象とした実施経験の有無による分析—, 日本心理学会第 78 回大会発表論文集, p.73.
9. 安達悠子 2014.8 医療行為リスク認知に関する大学生—看護師間比較 日本応用心理学会第 81 回大会発表論文集, p.85
10. 安達悠子 2014.6 病院看護師の医療行為に関するリスク認知 日本人間工学会第 55 回大会講演集 (日本人間工学会誌第 50 巻特別号) , pp.152-153.
11. Etsuko T. HARADA, Yuko ADACHI & Satoru SUTO. 2014.4 Implicit and explicit attitudes to information and communication technology (ICT) Equipment: Differences between young and older adults in Japan. Cognitive Aging Conference 2014. Atlanta, Georgia, USA.
12. 安達悠子 2013.12 大学生の医療行為に対する認知・理解度, リスク認知, 受容度 平成 25 年度日本人間工学会関西支部大会講演論文集, pp.49-52
13. 安達悠子・原田悦子・須藤 智・熊田孝恒 2013.9 新奇な機器の操作達成に関わる加齢諸要因—「みんラボ」データベース分析による検討— 日本心理学会第 77 回大会発表論文集, p.240.
14. 須藤智・原田悦子・田中伸之輔・安達悠子・日根恭子 2013.6 認知的加齢が人工物利用学習に及ぼす影響, 日本認知心理学会第 11 回大会発表論文集, p.18.
15. 安達悠子・須藤智・原田悦子 2013.6 情報機器利用に対する態度と加齢—認知機能による個人差を加えての検討—, 日本認知心理学会第 11 回大会発表論文集, p.114.



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

社 会 活 動

関連する国内外機関誌の査読など



受け継がれる、漂とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY